

3年間の学習成果報告

— 国家資格取得への取り組み —

学校名 東海工業専門学校金山校

所属学科 著者名 測量研究科 青山亮車

1. はじめに

私は、昨年までの二年間は東海工業専門学校金山校の土木工学科で土木一般を学び、現在は測量研究科で測量の主に計画について学んでいます。

土木工学科は二年課程の学科で土木技術者としての基本的な技術や知識を習得する学科です。1年次には学校と連携している企業様のご協力により様々な現場を見学させていただきました。また、資格所得の面では2級造園施工管理技士(学科)、3級建設業経理事務士の取得に取り組みました。2年次には「東海地区型枠工事協同組合」様のご協力による「コンクリート擁壁」の施工実習や夏休み期間を利用して建設現場での実働14日間の企業実習。又、卒業研究発表に向けた研究課題への取り組みも、企業様のご協力を得て行いました。一方、資格取得面では、測量士補、2級管工事施工管理技士(学科)、そして2級土木施工管理技士(学科)にチャレンジしました。

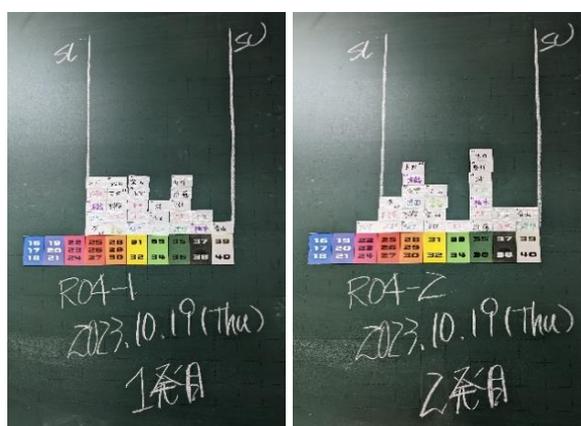
現在学んでいる測量研究科は一年課程で、卒業と同時に測量士の国家資格を無試験で取得することができる学科です。従って測量士としての力量が不足することのないよう日々意識して勉強に取り組んでおり、この夏には総合演習としての測量実習を経験しました。更に資格取得では、今年度から資格試験制度の改正により19歳で1級土木施工管理技士(学科)の受検が可能となったため、この資格取得に向けても4月から取り組みました。

2. 国家資格取得への取り組み

国家資格取得への主な取り組みとしては、授業後の講習会があります。土木工学科では資格試験の3週間前から担任による授業後の講習会が開催されました。講習会では、最初の1~2週間は過去問題を分野別に分けて解説をしていただきました。その期間後は、年度別問題を通しで解き、解答後不明な点や受講生全体の不出来な問題を解説してもらい

ました。

分野別の解説では、先生から分野別・傾向別に問題と解説の資料の提供があり、それに基づいて細かく説明をしていただきました。過去問題を解くときは、ただ解いて答え合わせをするだけでなく、ヒストグラムを用いて受講生の点数分析を実施しました。これにより自分が合格ラインのどの位置にいるの



実際のヒストグラム

か、日々自分がどれだけ成長しているのかを可視化することができ、次はさらに高い点数を取ろうというモチベーションにつながりました。

講習時間は、2級造園の折は16時15分から18時30分まででしたが、2級土木・2級管工事・測量士補の講習の際は、16時15分から遅いと20時近くまで学校に残り講習を受講しました。

一方、今年の1級土木の講習会については、働き方改革の影響で先生方の残業時間が制限されました。加えて測量研究科は、週2回17時まで平常授業があるため、更に勉強時間が制限を受けることになりました。そのため1級土木の講習会は、試験日の約3ヶ月前の4月から取り組みました。結果として次の成果を収めることができました。

■AOYAMA RIKU

■rikutasrm@gmail.com

3. 取得した資格

この三年間で取得済み、又は取得予定の資格は、1級土木施工管理技士補・2級土木施工管理技士補・2級管工事施工管理技士補・2級造園施工管理技士補・3級建設業経理事務士・測量士補・測量士の7つです。測量士以外の6つの資格は、試験合格しました。測量士は、前述のとおり今年度測量研究科を卒業することで取得できる予定です。

4. 資格取得への取り組みで得られたもの

この三年間で6つの資格試験に挑戦をして得られたのは資格だけではありません。資格を取得する過程においてたくさんのものを得ることができたと思います。

一つは自分の好きなことのためにする勉強が楽しいということを認識することができたことです。私はもともと勉強が好きの方ではありませんが、講習を受けているとまだ知らないことがこんなに沢山あるのかと気づくことができました。また、わからなかった問題を解くことができた時、自分に確実に知識が身についていることを感じ達成感を得ることができました。

「やればできる」。一生懸命取り組めば結果は必ずと付いてくることが実感できたことは、私にとって実社会に出る前の大きな自信と財産になりました。

次に、仲間の大切さを再認識できたことです。講習では、ただ先生の解説を聞くだけでなく、わからない所をクラスメイトと共有し、教え合いました。自分のわからない所やわかる所を仲間と教え合うことで、より一層理解が深まりました。この資格取得の取り組みを通して仲間と支え合うことの大切さを改めて実感することができたのです。



講習会で教え合っている様子

5. 受験資格改正の影響と成果

今年度から「高齢化が進む建設業における中長期的な担い手の確保・育成を図るため」という理由で施工管理技術検定の受検資格の改正がありました。大きく変わったのは1級の一次検定が19歳以上なら誰でも受検できるようになった点だと思います。今までは受検に実務経験が必要でしたが一次検定では19歳以上ならば実務経験が不要で、学生の間(2年生で)に受けられるようになったのです。

改正により、今年度から私が学んでいる東海工業専門学校金山校でも1級土木施工管理技士の資格試験への取り組みが始まりました。改正後の第1回目ということでもどの程度勉強したら良いのか、どれくらいの合格率なのかがわからないため、他の資格勉強より大変に感じました。

試験結果としては、一緒に取り組んだ測量設計科2年と土木工学科2年生の合格率は77.7%（全国平均44.4%）でした。私の在籍している測量研究科でも私を含めて10名が1級土木に合格しました。

6. 今後の取り組み

今後は、測量士として活躍できるよう引き続き勉強に取り組んでいきたいと考えています。卒業後は、土木施工会社で現場の知識をしっかりと身につけて2級・1級の土木施工管理技士の二次検定に向けて計画的に勉強したいと思います。また、資格を取得することの達成感と勉強の楽しさをこの3年間で実感することができたので、今後も技術士等高度な資格に挑戦していきたいと思います。

今後も一生懸命何ごとにも取り組み、日本のインフラを支える技術者になりたいと思います。

最後に資格試験の指導を熱心にして頂いた東海工業専門学校金山校の先生方にこの場をお借りして謝意を申し上げます。

〈参考文献等〉

[【最新版】施工管理技士受検資格の改正について令和6年度からの新制度とは・コラム | 株式会社ネオコンストラクション](#)

〈キーワード〉東海工業専門学校金山校, 土木工学科, 測量研究科, 資格試験